



東京全労協

2014年4月23日 63
東京都港区新橋6-7-1
川口ビル6F
TEL. 03 - 5403 - 1650
FAX. 03 - 5403 - 1653
発行人 纈纈 朗
定価 1部 10円



4・15けんり春闘中央総行動、経団連前からスタート

政府主導「官製春闘」の狙いを見抜き 労働組合は団結の力で、 全ての労働者の賃上げを 勝ち取ろう！

政府が賃上げを要請した異例の14春闘は、アベノミクス効果で大儲けした企業利益に比べ僅かなべアで受結した大手労組の前半戦が終わり、中小企業・非正規へと闘いの現場を移した。東京全労協は14けんり春闘とともに4・15東部総行動、経団連前中央総行動、春闘総決起集会・銀座デモを闘い、労働組合の団結の

力で、中小・非正規労働者をはじめ全ての労働者に生活できる賃金を勝ち取ろう！と要求を掲げ14春闘後半戦に突入している。中小・零細企業の労働者は「定期昇給」制度もないところが多く、一時金も出ないか僅かに過ぎない。さらに低賃金・不安定な非正規労働者の賃上げは切実だ。四月からの消費税増税、医

療・年金・介護など社会保障関連の負担増と給付削減、円安による物価高騰などの影響で労働者の生活は苦しくなる一方だ。労働者・労働組合は、団結して生活防衛のために闘おう。安倍政権は日銀による「異次元の金融緩和」で円安・株高を加速させ、大企業を中心に利益を大幅に増やした。

とくに輸出大企業のぼろ儲けはひどく、トヨタの第三四半期決算報告では、1年前に比べて増えた4757億円の営業利益のうち為替差益が2600億円だ。4月からは、消費税増税で輸出戻し税が増える上に法人税減税が待っていて笑いが止まらない。また、春闘後半戦の焦点の中小企業では「経営が苦しいから賃上げはできない」と言うが、最新の法人企業統計の資本金1千万円〜2千万円の企業でも経常利益が27%も増加している。中小企業でも、労働者に賃上げを実施することは十分できる。

厚労省・毎月勤労統計によると、各企業の儲けが増えるのとは逆に労働者の賃金は下がり、その暮らしはアベノミクスの1年間で窮乏化が進んでいる。また、安倍政権の1年間で非正規労働者は93万人増大し1906万人となっている。安倍政権は、派遣法改悪など労働分野の規制緩和をさらに進めることを言明しているが、低賃金でいつでも自由に使ってできる労働者を増やして「企業が世界で一番活動しやすい国を目指す」のが狙いだ。4月26日の連合メーデーに安倍首相が来賓参加することが決まった、連合指導部のように「安倍政権頼り」では、全ての労働者が生活できる賃金を獲得することはできない。アベノミクスに幻想を持つことなく、14春闘後半戦をストライキを含む大衆行動で闘おう。

沖縄の現状を学び反基地・反戦平和闘争を！ 5・15沖縄平和行進に連帯しよう！

東京全労協は、沖縄の現地学習も兼ねて平和行進に参加をします。今年は、5月15日夜〜19日の日程で、16日（辺野古海上視察・嘉数高地）、17日（平和祈念堂・南風原陸軍病院壕・宮森小学校仲よし地蔵）、18日（平和行進南ウイングコース・県民大会・普天間第1ゲート前集会などの現地行動を取り組みます。

安倍政権は、日本を「戦争をする国」にするために特定秘密保護法の強行成立を図り、集団的自衛権の行使を容認させ、自衛隊を「国軍」とする憲法9条の改悪を目論んでいます。そして、オバマ大統領を来日させ日米同盟強化の再確認を行い、米軍再編の実行と辺野古への新基地建設を推し進めています。

沖縄では復帰42年が経過しても繰り返される米軍の事故、米兵の暴力事件、基地強化のためのオスプレイ配備、加えて仲井真知事が辺野古埋め立てを承認すると暴挙に怒り心頭です。こうした中、名護市長選挙では辺野古新基地建設反対を掲げる稲嶺氏が当選を果たし安倍政権に「NO！」を突きつけました。

しかし、安倍政権は沖縄の民意を踏みにじるように辺野古のボーリング調査入札を行い、現地では、4月19日にボーリング調査阻止10周年海上デモと集会が闘われました。この様に今年は沖縄が「変動」しています。

東京全労協は戦争国家体制に暴走する安倍政権打倒を掲げ、日

米安保粉碎、普天間基地即時撤去、辺野古新基地建設反対、高江ヘリパット建設反対、自衛隊の海外派兵を許さず、沖縄県民と連帯し5・15沖縄平和行進を闘い抜きます。



昨年の沖縄平和行進の闘い



4・15けんり春闘中央総決起集会

多摩全生園お花見・学習会を開催

練馬全労協

4月6日(日)11時に東京都東村山市にある、多摩全生園でお花見・学習会を開催しました。毎年恒例であり、練馬全労協・練馬地域ユニオンが中心となり、地域の仲間と実行委員会形式で参加者52名で開催されました。

多摩全生園は、1965年(昭和40年代)頃から地域の人々と交流を持つと、桜の苗を植え毎年綺麗な桜が咲き、市民に場所を提供してお花見を楽しむようになりました。私たちが今から約15年前から、多摩

全生園で暮らしている方と交流を持ちました。私も最初は学校の授業で少し学ぶ程度でしたが、毎年訪れていくうちに本当の真実がわかるようになりました。「ハンセン病」てなに?。どんな病気なのか触れたいと思います。

末梢神経に障害が起き、汗が出なくなり、痛み、熱い、冷たいといった感覚がなくなる場合があります。また、体の一部が変形するといった後遺症が残ることもあります。かつては「らい病」と呼ばれていましたが、1873年(明治6年)に「らい菌」を発見したノルウェーの医師・ハンセン氏の名前をとって、現在は「ハンセン病」と呼ばれています。しかし多摩全生園には暗い悲しい歴史があります。ハンセン病の向こう側には、長い間、偏見や差別に苦しんでいる人たちがいます。強制的に患者を隔離して自由を奪い取り療養所に収容して亡くなった方も多くいます。

なバケツに入れて水と塩で冷やして準備しました。1時間の資料館見学後にみんなが集まり乾杯をして始めました。開始間もなく雨がぱらつき始めたので、厚生会館に場所を移し再度乾杯をしました。

初めて多摩全生園に来た方からは、「ハンセン病」はどういう病気なのかかわらなかつた。感染しない病気なんだ。資料館見学で学んだことが、あちらこちらからと会話で出ていることに耳にしました。最後に一人ひとりが自己紹介してお花見交流会が終了しました。(厚生会館で記念撮影しました)

4・15 東部けんり総行動 バス2台で争議支援にかけ巡る

4月15日、東部けんり総行動は朝9時、JR日暮里駅前から始まり、まず駅前で集会を開き、JAL争議団と各争議組合から闘う決意が述べられました。

護士3名が入り口に立ちただかり、代表団の申し入れ書の受取りを拒否し妨害する悪質な行動に終始したため、50歳雇い止めで解雇された当事者を始め参加者の怒りのシュプレヒコールが街中に響き渡り、会社側は、しぶしぶ申し入れ書を受け取った。井上眼科前のJR御茶ノ水駅前、行きかう人々に職場を改善しようと組合を結成したら、不当解雇された全統一の福井さんから、職場でのパワハラなどの実体が報告されると、足を止め質問してくる人もいほど注目をあびた。



定年退職の慰労とお花見、学習会を開催(4月6日、練馬全労協)

多摩全生園でお花見を楽しむ事ではなく、そこで暮らしている方の話を聞き、いまだに偏見や差別に苦しんでいる方の支援と啓発活動が必要になります。練馬全労協は、地域の仲間とともにあらゆる差別に闘います。なお、多摩全生園に232名の方が暮らしています。(13年5月1日現在)

話が飛んでしまいました。今年からはお花見を楽しむ前に学習会を開催しました。多摩全生園に暮らしている方に資料館の案内をして貰いました。我々は料理を拵えて頂いた藤本さんの料理を器に盛る作業をしました。缶ビールは大きな

大手町のNTTでは、頸肩腕障害で33年前に解雇され、闘い続けている木下孝子さん、N関労茨城の非正規労働者で10年間も契約更新しているのに解雇された沼田さん、電通労組の仲間や、千代田総行動の代表などが、申し入れ団に入り、

中部全労協の活動報告

中部全労協は13年12月6日に第22回大会を開催し、2月7日JAL原告を交え14年旗開きを45名の仲間が参加して抽選会などを行いました。

また3月4日には、18時から「和泉橋区民館」において「春闘総決起集会」を開催しました。3月18日秋葉原駅頭に於いて、20名の参加により春闘の統一情宣行動のチラシ配布を実施し、けんり春闘総行動、東京労組春闘行動にも積極的に参加してきました。

12年3月8日に結成した「JAL闘争支援中部共闘会議」(千代田区労協・中央区労協・千代田区労連・中部全労協の参加で結成)は、定期的に会議を開催し、



JAL闘争の闘いは裁判所前で座り込み。東京全労協は集中日を設定して取り組んだ。

争議解決の申し入れ書を手渡しました。昼からは、経団連前の14けんり春闘総行動に合流し参加しました。

一日も早い争議解決に向け独自行動を追求してききました。

3月13日・4月15日「千代田春闘共闘委員会」と共同で国土交通省・防衛省・JAL本社などに早期解決を求め要請などを行ってききました。

今日の格差と貧困の拡大、労働法制度の規制緩和、労働者派遣法の改悪、労働者の権利低下等、史上空前の利益を上げている経営側は、労働者、勤労者に一層の犠牲を押しつけてくる。この姿は私たちの側の力不足に起因する。

中部全労協は、地域連帯の強化拡大、不安定雇用労働者との連帯からはじめて、多くの争議団、民主団体と連帯し、多数派になるため努力を惜しまない。

第85回日比谷メーデーに結集しよう!

働く者の団結で生活と権利、
平和と民主主義を守ろう!

とき 2014年5月1日 9時05分開場、9時50分開会
ところ 日比谷野外音楽堂